

たった 2°Cで

人間にとって、体温が 36.5°Cというのはとても大事だよね。健康でいるために、ぼくたちは暑い時は汗をかくし、寒い時はふるえる。

では、体温が 2°C上がったらどうなるだろう？

体中の力がぬけてしまい、食事も運動もできなくて、ただ横になることしかできなくなるよね。もしも体温が 2°C以上あがってしまったら、それは本当に危険なサインなんだ。すぐに病院に行く必要があるね。

では、海の水温が 2°C上がったらどうなるだろう？

魚は体温調節ができないよ。だから、魚にとっての 2°Cは、人間にとっての 20°Cと同じくらい大きなちがいなんだ。魚は熱い海水から逃げるために、命を危険にさらさなくてはいけなくなる。

そんな海では、プランクトンは死んでしまうし、サンゴもなくなってしまうね。サンゴがなくなると、小さな魚がいなくなってしまう。それを食べている大きな魚もいなくなっちゃう。たった 2°Cのちがいで、生命に満ちた海は、死の海に変わってしまう。

昔むかし、パンダは生きのびるために高い山へと逃げていったんだ。そこでは、一年中緑の葉っぱの竹を食べられるから、安全だった。でも、もし気温が 2°C上がったら、竹が育たなくなる、そしてパンダの食べ物がなくなっちゃう！

昆虫はどうなるだろうか？

暖かい気候が好きな虫が、いっぱい増えちゃうだろうね。これらの昆虫は、ぼくたちの畑の野菜や米を食べつくしてしまうかもしれないよ。そうなれば今度は、人間が食料を見つけるのに苦労することになるね。

地球の気温はすでに 1.1°C上昇してしまっている。地球は病気になって、熱を出しているんだ。この病気は地球温暖化と呼ばれているよ。地球の熱がこれ以上、上がらないように、ぼくたちは地球を守らなければいけない。もしも地球の気温が 2°C上がったら、すべての生き物が危険にさらされるのだから。植物

も、動物も、きみも、ぼくも。